

斑点米カメムシ対策のため

水田周辺の適期草刈りを徹底しましょう！

・水田周辺の雑草地や牧草地、畦畔では斑点米カメムシ類が平年に比べて多く確認されています。

・水稻の出穂 10 日前までに水田周辺草地の草刈りを実施してください。

1 発生現況

- (1) 7月上旬の周辺草地(雑草地, 牧草地及び畦畔)における巡回調査の結果, 斑点米カメムシ類のすくい取り虫数は 48.7 頭で平年(26.6 頭)よりも多く, 発生地点率も 81.3%と平年(70.8%)よりやや高かった(図1)。
- (2) 発生の主体はカシカメムシ類であり, 成幼虫別では幼虫の割合が高かった。

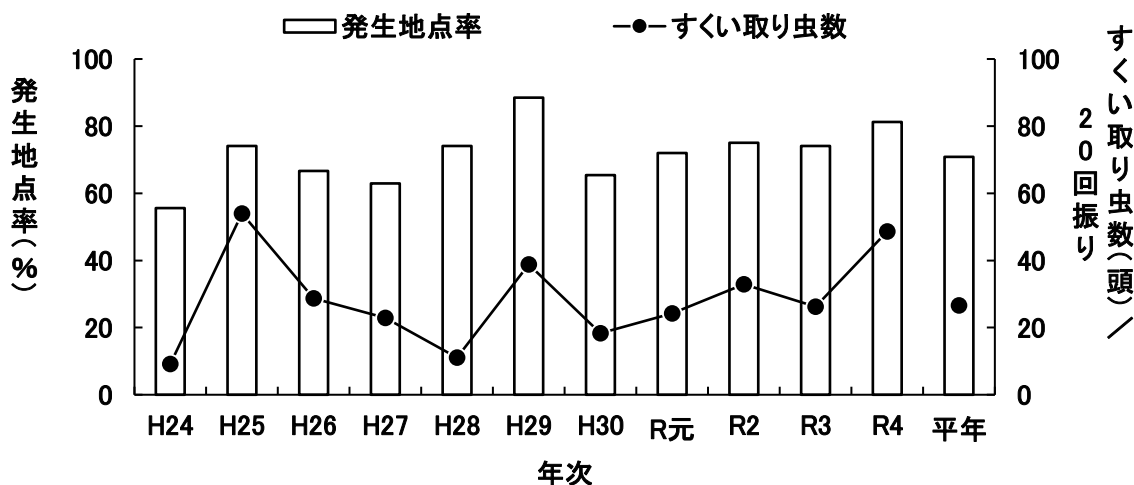


図1 7月上旬の周辺草地(雑草地, 牧草地及び畦畔)における斑点米カメムシ類のすくい取り虫数及び発生地点率の年次推移 (病害虫防除所)

2 防除のポイント

- (1) 水田周辺の牧草地や雑草地に生息する斑点米カメムシ類の密度を低下させるために, 草刈りは幼虫が主体となる7月中旬に行う。
- (2) 水田畦畔の草刈りは, 水稻の出穂期前後に行うと斑点米カメムシ類を水田内に追い込むことになるため, 水稻が出穂する 10 日前までに終わる。なお, 県全体の出穂期の平年値は8月2日である。

◇参考資料

斑点米カメムシの繁殖地(牧草地)におけるイネ科植物を適期(7月上中旬)に刈り取ることで、主要種であるアカスジカスミカメの第1世代成虫の発生密度を抑制できる。

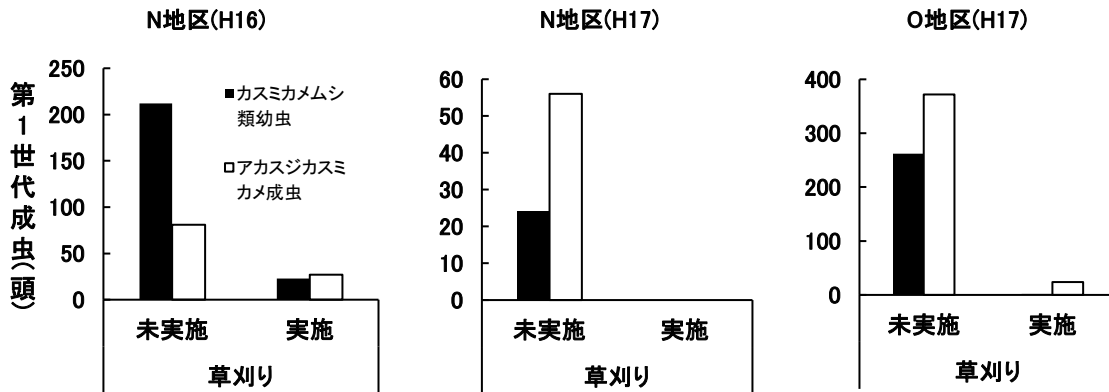


図2 イタリアンライグラスの刈り取りによるアカスジカスミカメ密度への影響 (H16, H17 古川農業試験場)
 注)刈り取りの実施時期: 7月第1半旬(H16), 7月第4半旬(H17)。
 アカスジカスミカメ第1世代の密度調査: 20回振りすくい取り。
 すくい取り調査の時期: 7月第4半旬(H16), 7月第6半旬(H17)。

—農薬の適正使用について—

- 1 ラベルに記載されている適用作物, 使用時期, 使用方法等を十分に確認する。特に, 水田用除草剤や水田で粒剤を使用する場合は, 止水に関する注意事項を確認する。
- 2 ラベルの注意事項にある「注意喚起マーク」の表示に従い, 適切な保護具を着用する。
- 3 農薬の使用前後には, 防除器具を点検し, 十分に洗浄されているか確認する。
- 4 近隣住民等に散布スケジュールを事前に周知し, 周辺環境への飛散防止に努める。
- 5 農薬は計画的に購入・使用し, 使い切るよう努める。
- 6 散布後には農薬の使用履歴を記帳する。

※薬剤の選定に当たっては, 最新の農薬登録情報を確認してください。

農林水産省の農薬登録情報提供システム: <https://pesticide.maff.go.jp/>

《お問い合わせ先》

宮城県病害虫防除所

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17

TEL: 022-275-8982 FAX: 022-276-0429

E-mail: byogai@pref.miyagi.lg.jp



宮城県病害虫防除所 QRコード

農薬危害防止運動実施中！(6月1日～8月31日まで)

宮城県病害虫防除所から『メルマガ』配信開始！

【登録方法】

QRコードまたは URL からホームページの登録フォームへアクセス
 できます。

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/mail-magazine.html>



宮城県病害虫防除所
 メルマガ QRコード